

19

Mon 月曜日

ふくいんの ために ちからを つくそう

でいこうの
定期祈りに成功したらチェックしよう

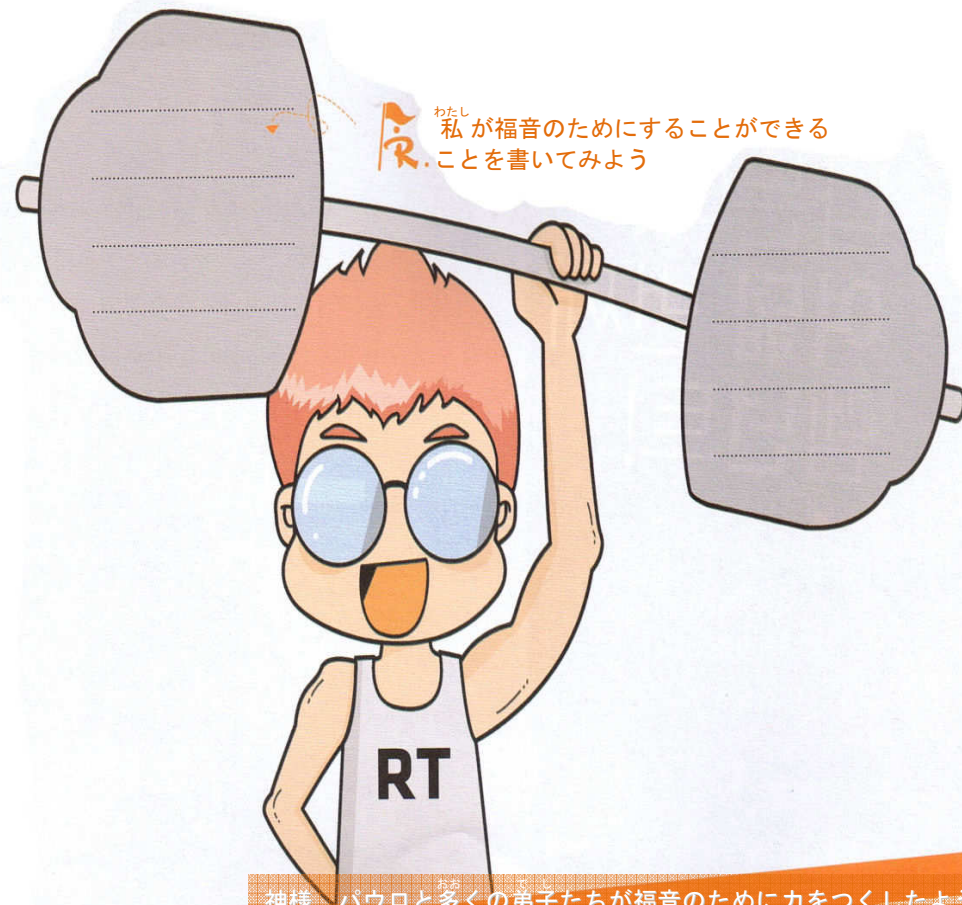
ローマ 16:12

主にあつて勞している、ツルパ
ナとツルポサによろしく。主に
あつて非常に勞苦した愛する
ペルシスによろしく。

memo

「ただイエスさまだけがキリストで、神様に会う
ただひとつの道です」パウロは、行く所ごとに力
をつくして福音を伝えました。それで、多くの町
に教会が立って、信じる人々がますます多くなる
ようになりました。パウロだけではなく、たくさ
んの弟子もそれぞれの現場で力をつくして福音を
伝えました。彼らはみんな福音に深く根をおろし
ていたから、福音のために生きることをよろこん
でいました。

福音は、**私**たちを**罪**とのろいと**サタン**の**力**から**救**
う神様の**愛**のことばだと言えます。福音の中にた
くさん入っている神様の愛を考えてみれば、自然
に感謝と**さんび**があふれます。そのようになれば、
ほかのお友だちにも福音が伝わるように、家や教
会や学校で小さなことであっても、もっと力をつ
くすことができる力が生まれます。レムナントで
ある**私**が、今日、福音のために力をつくしてすべ
きことはなんでしょうか。



神様、パウロと多くの弟子たちが福音のために力をつくしたよう
に、**私**も福音のためにすることを力をつくしてするように助けて
ください。家と教会と学校で、福音運動を味わえるほど、はたらい
てください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。ア
ーメン。

その人が読んでいる本を見れば、その人の**性格**が自然に分かるようになる — W.チャモンド

20

Tue 火曜日

わたしは、 8ばんめの レムナント！

ていこいの
定刻祈りに成功したらチェックしよう

詩篇 23:1

主は私の羊飼。私は、
乏しいことはありません。

memo

神様は創世記3章15節で罪つみによつてのろいにおちいた世の中を救う女の子孫を約束してくださいました。そして、出エジプト3章18節を通して、罪つみとのろいから解放される犠牲のいけにえを約束されました。また、イザヤ7章14節で、処女しよじよのからだを通して人となつてこられる救い主を約束してくださいました。とうとう、神様の約束は、マタイ16章15節に処女しよじよのからだを通して、女の子孫としてこの世に来られ、聖書どおりに死に、三日目よみがえり、この世を救われるイエス・キリストで成就じゆうじゆされました。どんな状態じやうたいの中でも、この約束を信じ、祈つて、神様にゆだねたヨセフ、モーセ、サムエル、ダビデ、エリシャ、イザヤ、パウロは、みんな、ときになったら、神様に大きな栄光えいこうをささげる恵みを味わいました。

今から福音を持ったレムナントである私も、勉強べんきやうがよくできても、できなくても、健康けんこうでも弱くても、かっこうよくても、悪くても、家が豊かでも、貧しくても、どんなことにも揺れることなく、神様の約束やくそくをしっかりとにぎって祈りましょう。

知識は力だ ———— パーゴン



8番目のレムナント_____に、自分の名前をいれて、7人のレムナントが受けた祝福しゆくふくを考えよう

ヨセフ、モーセ、サムエル、ダビデ
エリシャ、イザヤ、パウロ

8番目のレムナント_____！



聖書の7人のレムナントが、神様の約束やくそくをしっかりとにぎって祈つて、神様の時に、おどろくべき力を味わったことのように、私も神様の約束やくそくをしっかりと確信かくしんして、祈る8番目のレムナントにならせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン。



21

Wed: 水曜日

あなたは レムナントの どだい

ていこくのせいこう
定期祈りに成功したらチェックしよう

Ⅱ テモテ 2:1-7

そこで、わが子よ。キリスト・イエスにある恵みによって強くなりなさい。多くの証人の前で私から聞いたことを、他の人にも教える力のある忠実な人たちにゆだねなさい。

memo

はしごがおれたり、くさっていたら、高い所へ上がるのが大変です。しかし、土台がしっかりとしているならば、安心して上にあがることができます。未来に向けて一歩ずつ進む時も、どんな土台をふみながら行くのかが、すごく重要です。くさってゆれる弱い土台をふんで行ったら、すぐ落ちたり、けがをするようになります。

神様は私たちが霊的な兵士、競技する者、労苦する農夫として生きて行くように信仰の土台をくださいました。一番目の土台は、すべての問題を解決した「イエス・キリスト」です。次の土台は、暗やみの勢力がくだかれる「神の国」です。三番目の土台は、聖霊に満たされてみちびかれてなされる「世界福音化」です。最後の土台は、すべてのことに神様がくださる「知恵と思慮深さ」です。8番目のレムナントは、どんな問題が来ても心配せずに、神様がくださる土台をふんで堂々と前に進みましょう。

神様が私にくださった土台を考えながら、2つの絵のちがうところをさがしましょう。



神様、私を8番目のレムナントとしてよんでくださって、本当にありがとうございます。私にどんなことがあっても、ほかの言いわけをしないで、神様がくださった土台に力強くふみ出して出て行くことができるように信仰をください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン。

22

Thu 木曜日

わたしたちは レムナント うんどうの しゅじんこう

定刻祈りに成功したらチェックしよう

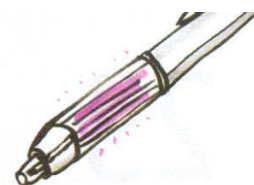
エペソ 6:12

私たちの格闘は血肉に対するものではなく、主権、力、この暗やみの世界の支配者たち、また、天に在るもろもろの悪霊に対するものです。

「窓を開けて、あおぐからといってまっくらな部屋の中にあるやみが出て行くでしょうか」いくらたくさんあおいだとしても、やみは消えません。電源のスイッチをつければ、あかりがついて、やみは消えて、部屋の中は明るく変わります。霊的な敵であるサタンは、世の中を支配しようといつもじっとねらっています。しかし、私たちの隊長であるイエス・キリストのお名前の前では、かんぜんにはばられて、はなれていくしかないのです。福音を持ったレムナントの祈りの前で、ひざまずいてくずれるようになります。サタンの誘惑にだまされたり、揺れたりしないで、今日のみことばと祈りと伝道の中で信仰をにぎって、いつも勝利する子どもになりましょう。

「なにかの状況が私をたいへんだを思わせて、あきらめさせるのですか」しかし、あきらかな事實は、福音を持ったレムナントである()をとお通して神の国がなされます。私が頭がよくてえらくても、あるいは少したりなくてまずそくても、かんけいありません。イエス・キリストのお名前をにぎって進む「私たちがレムナント運動の主人公」です。

読書とは、自分の頭が他人の頭で考えることだ — ショーペンハウアー



神の国が臨むように祈り、タイトルに合わせて詩を書いてね



Handwriting practice lines consisting of multiple horizontal dashed lines on a light blue background.

神様、サタンが神様の子どもである私を倒そうとしますが、揺れない確信をくださって感謝します。神の国を立てて、霊的な戦いでサタンをくだき、勝利するレムナント運動の主人公にならせてください。

イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン。



23

Fri. 金曜日

いのり しましょうか？

定刻祈りに成功したらチェックしよう

ヨハネ 14:14

あなたがたが、わたしの名によって何かをわたしに求めるなら、わたしはそれをしましょう。



イエス様は、ヨハネ 14章 14節のみことばから「わたしの名で何かをわたしに求めるなら、わたしはそれをしましょう」とたしかに約束されました。イエス様が重要におっしゃった祈りをどのようにすればよいのでしょうか。

まず、むりやりにするよりも、私の生活の中で、自然に少しずつ楽にはじめてみましょう。はじめには、一日に一度、1分くらいずつく子どもの祈りの手帳のみことばを黙想して、私の生活に適用したことを祈りの課題にして祈ることができます。具体的な祈りの内容は、救いに対する感謝と福音を味わう伝道から見つけます。「さあ、いっしょに、いちばんしあわせな時間を作りましょう！」

「Let's Go! 私たち、祈りましょうか？」



あいの神様

私（ ）は罪人です。

どこからきて、なにをして、どこに行くのか

知らずにさまよっていました。今、私の心のとびらを開いて

イエス様を私の救い主として、受け入れます。

私の中にはいつてきてくださって、私の主人になってください。

今までおかしした罪、今おかし罪、これからおかし罪まで、

すべて十字架のとうとい血で洗ってゆるしてくださり

私を神様の子どもとしてください。今から

天国に行くまで、みちびいてくださることをしんじて

感謝します。イエス様のお名前によって

お祈りします。アーメン

読書ほど値なしに、長い間、楽しみを味わうことができるものはない - モンテニユ

人とはその顔つき、勇ましき、先祖や家系をもって話すのではない。ただ、読書する学のある者なら、むしろ話すべきである。 - 孔子

24

Sat 土曜日

まことの伝道者はいないのですか？

おはなし黙想 4

「今日はママとショッピングしに行くことにした日です」

カズミは、学校が終わったらすぐに家に走って帰りました。そして、ママとなかよく手をつないでショッピングをしました。それまで、買いたいと見ていた服を買って、おいしいお昼も食べて、楽しい時間をとごしました。ところであちこち道を通っていたら、姉妹だと思える女の子二人に会いました。ママは、ためらわずに近づいて、いくつかの質問をして、すぐに福音を伝えました。

お姉さんのほうは、カズミと同じ4年生で、1年生の妹と放課後に教室に夕方までいて、家に帰るとちゅうでした。親が夜おそくまで働いているから、妹のめんどうを見なければならず、自分はいつもさびしいと言いました。時には一人でトイレへ行くことができないほど、こわい気がすると言いました。ママがこの姉妹に福音を伝えたとき、カズミは横で祈りで助けました。二人の姉妹は、きちんと受け入れの祈りをして、心からイエス様を受け入れました。それから見たら、顔がまったくちがうように明るくなっていました。

定刻祈りに成功したらチェックしよう

本がない家は、ドアがない住宅のようだ。本がない部屋はたましいがぬけた肉体のようだ — キケロ

「ママ、ママはどこでも福音を伝える準備をしているの？ 私はそんなことを考えてもいなかったけど・・・」

カズミは家に帰ってママに聞きました。

「神様がママに福音を伝える心をくださったの。現場を見れば、さっきの友だちのように、神様に会えずに苦しんでいる人々があまりにも多いのよ。」カズミはママがもっとほこらしく思えました。

「ママは最高！神様がよろこんでおられるよ。牧師先生がおっしゃるまことの伝道者はきっとママみたいだという気がする」カズミが言うと、ママはこのように言いました。

「ママが福音を伝えるとき、カズミが横で祈っていたのを感じたわ。」

カズミは小さな伝道者みたいよ。

ママも本当にカズミのことをほこりに思うわ」ママとカズミは目を合わせて笑いました。

